スローピッチソフトボールルール

長野市ソフトボール連盟スローピッチ実行委員会

１．競技場（「内野概略図（スローピッチ用）」パンフレット参照）

① 投手板と本塁の距離を 12m、各塁間の距離を 15mとする。

② ３塁･本塁間の中間点(7.5m)でファウルラインへ 2.43mのコメットラインを設定する。打者用のホームベース左前端を起点として一塁線に平行に 3.06mの位置に３塁ランナー専用の「スコアリングプレート」（本塁ベース）を設定。その位置の本塁ベース頂点から中間点を結び、ライン（7.5m）を引く。

③ １・２塁間及び２・３塁間に 7.5mの中間コメットラインを引く。

④ 打者用ホームベース及びストライクゾーンマットの寸法は、幅 43.18ｃｍ、長さ 82.55ｃｍとする。(「内野概略図（スローピッチ用)」参照＝打者・捕手席同時掲載)

⑤ １塁・２塁・３塁は、すべてダブルベースを使用。すべて白を内野側に設定する。

⑥ 外野フェンスを本塁より 50m（若穂球場・芝生際）に設定し、白線ラインを引く。打球が直接越えたら本塁打、ゴロ等で抜けたら２塁打とする。打球が内部に留まる時はフリーとする。

⑦ 外野手が境界線内でフライを捕球し、その勢いで境界線を出た場合はアウト。この場合、走者に１つの進塁を与える。境界線を跨いで捕球した場合はホームラン。空中で捕球し境界線の外へ着地した時はホームラン。

２．使用球

14 インチ（４号球)「ナガセケンコーアウトステッチタイプ（表縫い)」を使用。各チームより使用球を提出。順次ウレタン芯（Ｓ14-ＵＲ）に変更していく。

３．試合及び選手登録

① 選手は 50 歳以上の男子及び年齢制限無の女子で編成。それ以外の選手は登録不可。

② 試合は１チーム 10 名とする。10 人目はＳＦ（ショートフィルダー）とし、内外野どの位置でもプレーできるものとする。ただし、人員不足の場合は、最低８名まで認め、８名に達しない場合は不戦敗とする。

③ 試合は７回戦とし、同点の場合は引き分けとする。20 時 45 分を経過した時点で試合は終了とする。

④ 選手交代は何回でもでき、再出場も可能とする。

４．投球

① 投球は、プレートを両足もしくは軸足を必ず踏み、片方の足はプレート線内に置く。

② 投球は下手投げにて山なりとし、1.7m以上 3.4m以下の範囲を通過し、ホームベース及びストライクゾーンマットに当たるか少しでもかかればストライクとする。この範囲以外及びスピードボールの投球はボール。ただし、打者が打った場合はボールインプレーとして、そのままプレーを続行する。投手は捕手からの返球後 10 秒以内に投球する。

③ 投手が故意に四球を希望した時は、主審に告げるのみで投球しなくてよい。

④ 準備投球数は、初回及び投手交代時は３球、それ以外は１球とする。ただし、同イニング２度目の登板の時は無し。

５．打者

① バント及びチョップヒット(打者がバットを振り下ろす行為)は禁止。アウトを宣告する。

② ２ストライク後のファウルは、三振として打者アウト。バットの放り投げはアウト。

③ 死球は無し。四球・三振（振り逃げは無し）あり。

④ 不正打球を打った場合、プレーを続行する。

６．走塁

① 盗塁及びスライディングは禁止。捕手が後ろに逸らしても進塁無し。万が一、実行された時は、状況を見て走者アウトを宣告する。

② 走者の進塁は、白ベースよりスタートして、オレンジベースを使用することを原則とし、すべて走り抜けること。ただし、守備者が送球を処理しようとしてオレンジベースを使う時は、白ベース使用も可とする。

③ 離塁は、打者が打ったと同時に実行する。それ以前の場合は、走者アウトを宣告する。なお、打者が空振りをした時は、走者をアウトにせず、元の塁まで戻す。

④ １・２塁間、２・３塁間及び３・本塁間のコメットラインを少しでも踏み込んだ場合は、戻ることはできず、戻った時はアウトを宣告する。

⑤ タッチアップは３塁走者のみに認め、１塁及び２塁走者は認めない。違反した走者はアウトを宣告。３塁走者はコメットラインよりスコアリングプレートラインを通過してランナー専用ホームベースを踏まないと生還とならない。その場合、少しでもコメットラインを踏み込んだ時は、戻ることはできず、戻った時はアウト。また、ランナー専用のホームベースに触れる前に捕手が打者用ホームベースにて送球を正しく捕球した場合は、アウトを宣告する。更に、３塁走者が投球用ホームに触れた時も即時アウト。

⑥ 打者が１塁への走塁が不可能の時、代走者は本塁の延長線丸内からスタートする。代走者は誰が務めてもよい。

７．守備

① 守備者は白ベースでの捕球処理を原則とするが、送球状況に応じてオレンジベースで捕球処理することも可能とする。

② すべてフォースアウトが基本であるが、塁間のタッチプレーは認める。この時、スリーフィートラインアウトは認める。危険と判断した時は、共に走者はセーフとする。

③ インフィールド・フライは存在しない。

８．攻撃

１イニング５点を得点した時点で攻守交替する。ただし、本塁打・３塁打・２塁打による得点は有効とみなす。最高得点は８点。ただし、最終回（７回）はオープン回とする。同点の場合は引き分けとする。

９．その他

① 捕手はプロテクター、マスク等の捕手道具を着用しなくてよい。また、座る必要はない。

② 理事及び審判は、理事１名・主審１名・１塁及び３塁各塁審１名・外野線審１名を要望する。ただし、最低４名でも可とする。

③ スローピッチ実行委員会はＳリーグ参加チームの代表者をもって組織する。

平成 17 年４月　スローピッチソフトボールリーグ開始
平成 21 年３月 16 日　一部改訂
平成 22 年３月 15 日　一部改訂
平成 24 年３月 14 日　一部改訂
平成 25 年３月 13 日　一部改訂
平成 26 年３月 17 日　一部改訂
平成 27 年３月 16 日　一部改訂
平成 28 年３月 16 日　一部改訂
平成 29 年３月 15 日　一部改訂
令和　４年３月 28 日　一部改訂
令和　６年３月 11 日　一部改訂